

実り多く有意義な2学期に～運動会・体育祭等への備え～

2学期になりました。先生方も児童生徒も、よい学期にしたいという気持ちを持ちスタートしたことでしょう。9月には多くの学校で運動会・体育祭が計画されています。実り多く有意義な2学期とするためにも、健康と安全に十分気をつけ、適切な指導を行いましょよう。

重点1 「熱中症予防」

今年の夏も、非常に暑い日が続きました。

この夏には、部活動の練習中に熱中症で亡くなるという痛ましい事故も起きています。休み中は空調の効いた部屋にいる機会も多いなど、体が暑さになれていないことも考えられます。運動会・体育祭の練習時など、熱中症には十分気をつけることが必要です。

また、緊急時に備え、応急手当の研修を実施したり、連絡の分担を明確にしたりして、救急体制を確立しておきましょう。

重点2 「落雷事故防止」

落雷事故は年間を通じて発生する可能性があります。雷鳴はかすかでも危険信号であり、雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があります。

「落雷は防げないが、落雷事故は防止できる」「雷鳴を聞いたら、活動をやめる勇気を持つ」を意識して、事故を未然に防止しましょう。

なお、気象庁ホームページ「雷ナウキャストとは」から、雷発生の可能性や激しさについて、詳細な地域分布と1時間先まで10分毎の予報が確認できます。

重点3 「適切な指導」

運動会や体育祭で、よりよい演技、より高度な技、見栄えの良さを追求するあまり、組み体操等の危険を伴う種目の安全配慮・事故防止が二の次になっていませんか。また、中学校の部活動では新チームがスタートし普段以上に指導に熱が入る時期でもあります。毅然とした対応は必要ですが、力（体罰）に頼った指導が黙認されていませんか。

日頃から教職員間で十分な意思疎通を図り、気がついたこと・気になることがあるときには、すぐにお互いに声をかけあうよう心がけていきましょう。

県教育庁教職員課のホームページ「信頼される教職員であるために～コンプライアンス推進のページ～」を参考に、不祥事を防止しましょう。

